

Title	石油企業の組織変革プロセス-持ち株会社への移行-
Sub Title	
Author	外山哲夫(Toyama, Tetsuo) 浅川和宏
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1998
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1998年度経営学 第1456号 連絡が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001998-1456">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001998-1456</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

所属ゼミ	浅川 研究会	学籍番号	89728687	氏名	外山 哲夫
(論文題名)					
<p>石油企業の組織変革プロセス          — 持ち株会社への移行 —</p>					
(内容の要旨)					
<p>私は石油企業のフィールドワークを調査して、組織変革とは何か、を問い、変革プロセスを分析して、企業の組織変革の本質を明らかにした。「変革とは組織を解体することである」との理解から、たたき上げ方式による循環モデルの理論を形成した。その内容は、組織の解体から始まり、組織統合を経て組織再生へのダイナミックな組織循環のループを意味する。再生はやがて新旧組織の交代を経験して次の循環作業に移行する。企業組織はこのリズムを繰り返しながらスパイラル式に成長過程に上昇していく。</p> <p>私の研究は、変革の本質を追求し、その本当の姿を補足することにあつた。学問的貢献度は、実務的作業手順への手引きを誘導し、変革移行へのプロセス導入を示したことにある。</p>					